



水稲用除草剤

センイチMXジャンボ



農林水産省登録	第23766号
有効成分	ピラクロニル・・・4.0% フルセトスルフロン・・・0.40% メソトリオン・・・1.8%
性状	類白色細粒、水溶性パック入り（1パック50g）
人畜毒性	普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）
有効年限	3年
包装	（50g×10個）× 10袋

特長

- ✓ **すぐれた拡散性**
自己拡散性にすぐれた粒剤を水溶性パックで包装したジャンボ剤です。省力的な散布で、安定した除草効果を示します。
- ✓ **幅広い殺草スペクトラム**
メソトリオンの作用により、ホタルイ、コナギ等の広葉雑草に、ピラクロニルの作用により、一年生雑草やホタルイに対して安定した除草効果を示します。
- ✓ **3.5葉期までのノビエにすぐれた効果**
ノビエ3.5 葉期まで高い除草効果を示す一発処理剤です。
- ✓ **ゆとりのある散布適期**
本剤は雑草の発生に合わせて、幅広い時期に使用できます。

適用作物と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 及び 多年生広葉雑草 エゾノサヤヌカグサ アオミドロ・藻類によ る表層はく離	移植後1日～ノビエ3.5 葉期 但し、収穫60日前まで	小包装（パック）10個 （500g）	1回	水田に小包装（パッ ク）のまま投げ入れる
直播水稻	一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ノビエ3.5葉 期 但し、収穫60日前まで			

【各有効成分を含む農薬の総使用回数】
ピラクロニル・・・2回以内、フルセトスルフロン・・・2回以内、メソトリオン・・・2回以内
※本内容は2020年10月14日付の登録内容に基づいています。

効果・薬害等の注意事項

- 使用量を購入し、できるだけ残すことなく使い切ること。
- 本剤を移植水稻に使用する場合、使用時期は、ノビエの3.5葉期までなので、時期を失しないように散布すること。なお多年生雑草は生育段階によって効果にフレがでるので、必ず適期に散布するように注意すること。
各雑草の散布適期は次の通り。
ホタルイ・・・・・・・・・・4葉期まで
ヘラオモダカ、ミズガヤツリ、ウリカワ・・・3葉期まで
シズイ・・・・・・・・・・草丈3cmまで
オモダカ・・・・・・・・・・発生始期まで
クログワイ、コウキヤガラ・・・・・・・・草丈10cmまで
ヒルムシロ・・・・・・・・・・発生期まで
セリ・・・・・・・・・・再生前～再生始期まで
エゾノサヤヌカグサ・・・・・・・・2葉期まで
アオミドロ・藻類による表層はく離・・・・・・・・発生前まで
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く生育段階によって効果にフレが出るので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
- 前処理剤との体系で使用する場合には、雑草の発生状況をよく観察し、時期を失しないように適期に散布すること。
- 本剤を直播水稻に使用する場合、使用時期は、稲の1葉期からノビエの3.5葉期までなので、時期を失しないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレがでるので、必ず適期に散布するように注意すること。
各雑草の散布適期は次の通り。
ホタルイ、ミズガヤツリ、ウリカワ・・・3葉期まで
ヒルムシロ・・・・・・・・・・発生期まで
セリ・・・・・・・・・・再生前～再生始期まで
- 苗の植付けが均一となるように代かきをていねいに行うこと。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行うこと。
- 散布に当たっては、水の出入りを止めて5～6cmの湛水深にし、散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態（3～5cm）を保ち、田面を露出させないようにし、また、散布後7日間は落水、かけ流しはしないこと。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけること。
 - ・ 砂質土壌の水田及び漏水田（減水深2cm／日以上）
 - ・ 軟弱な苗を移植した水田
 - ・ 極端な浅植えの水田及び浮き苗の多い水田
- 稲の根が露出する条件では薬害が生じるおそれがあるので使用しないこと。
- 梅雨期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は除草効果が低下することがあるので、使用をさけること。
- 本剤は小包装（パック）のまま10アール当り10個の割合で水田に均等に投げ入れること。
- 藻類・表層はく離などの浮遊物が多い条件下では、拡散が不十分となり部分的な効果不足や薬害が生じることがあるので、使用をさけること。
- パックに使用しているフィルムは水溶性なので、ぬれた手で作業したり、降雨で破袋することがないように注意すること。
- 散布後数日間著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがあるが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていない。
- 本剤はその殺草特性からいぐさ、れんこん、せり、くわい等の生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意すること。
- 本剤を散布した水田の田面水を他の作物に灌水しないこと。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意事項

- 本剤は水溶性フィルムで小包装化されているため、濡れた手で触らないこと。
- 水溶性フィルム包装が破袋した場合は以下の点に注意すること。
 - ・ 眼に対して強い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けること。
 - ・ 皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。

魚毒性等

- ・ 水産動植物（藻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう注意して使用すること。
- ・ 散布後は水管理に注意すること。
- ・ 空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

保管

直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。

製剤は吸湿性があるので、湿気には十分注意し、使い残りは外袋の口を堅く閉じて保管すること。また、強く加圧されると包装材フィルムが劣化するおそれがあるので、下積みにならないようにすること。

備考

「センイチ®」は石原産業（株）の登録商標。「ジャンボ®」は（公財）日本植物調節剤研究協会の登録商標。